

この春からプランターでししとうや青しそ、サニーレタス等を育てています。レタスは毎日のお弁当に青しそは冷奴にのせて食べています。自分で作ったものを食べるって嬉しいですね！これからジメジメとした梅雨の季節。体調管理はしっかりね！

■『マイナンバー制度学習会（聴覚障害者生活訓練事業 教養講座）』を開催しました！

マイナンバー制度がスタートしましたが、まだまだ、いまいちピンとこないですね。

昨年、マイナンバー学習会をしたところ、参加できなかった方々から、「もう一回学習会をして欲しい。今度は参加したい」と要望が。ならばと、その要望を受け、本年度もまたマイナンバー学習会を行いました！

今回も、参加者は定員を超える32名となり、部屋はギューギュー詰めに。そして、質疑応答では終了時間ギリギリまで質問がでる等、いまだ変わらぬ関心の高さが伺えました。



注目!

お問合せの際には、下記のリンク先から「問い合わせ専用FAX用紙」をダウンロードしてくださいね。

<https://www.kojinbango-card.go.jp/otoiawase/index.html#fax>

■もし、聞こえない人がマイナンバー制度について問い合わせたいときは・・・

聴覚障がい者専用お問合せ FAX 番号（無料）

0120-601-785

「マイナンバー制度、通知カード、マイナンバーカードに関するご質問」及び「紛失・盗難に伴うマイナンバーカードの一時停止処理のご依頼」を受け付けています。マイナンバーカードの紛失、盗難等による一時利用停止については、24時間365日受け付けています。

■手話通訳者養成講座が始まります！



かんばろう！

2016年度手話通訳者養成講座を6月18日（土）に、津会場にて開講する予定です。

先日、受講申し込みをされた多くの方々の面接を行い、手話技術等をチェックしました。

受講決定された方は、これから手話通訳者を目指して、2年間受講されることになります。なお、現在、四日市会場で受講されている方は、本年度の統一試験に向けて頑張っています。

三重県手話言語条例が制定されようとしている今、10、20年後の意思疎通支援を支える人たちがもっと増えていって欲しいというのは、聴覚障害者の願いですね！

■センターまつりの日程が決定です！

今年のセンターまつりの日が決定しました！

2016年10月10日（祝・月）

今回は、センター設置から5年目ということもあり、昨年好評だった体験教室はもちろん、映像作品上映にも力を入れたものになる予定です。場所も、今までの三重県社会福祉会館ではなく、別のところへ？

詳しくは、またセンター便りにてお知らせいたします！



三重県聴覚障害者支援センター

三重 聴覚



〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館5階 FAX (059) 223-3301 / TEL (059) 223-3302

<http://www.deaf-mie-center.com/> e-mail : deaf.mie-center@vivid.ocn.ne.jp

□利用時間 午前8時30分～午後5時 □休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

字幕映像ライブラリー NEWS

今回も、当センターイチオシの作品を紹介しちゃいます。あのキムタク出演のドラマ『HERO』や、当センター自主制作番組の『鳥羽水族館 もっと！水の惑星（ほし）紀行』等、まだまだ話題の作品があるんですよ。

「借りたいけど、なかなかセンターに行くヒマがない～」とお嘆きのアナタ、大丈夫です。郵送で貸出や返却ができるんです。詳しくは当センターホームページで！



■字幕映像ライブラリー 今回のイチオシ作品 『HERO（第2期）全11話』



『HERO』（ヒーロー）は、フジテレビ系で放送された木村拓哉演じる型破りで正義感の強い検察官が主人公となったテレビドラマシリーズです。

第1期は、2001年に「月9」枠で放映され、その後、2006年に特別編ドラマ、翌2007年には劇場版がそれぞれ制作され、平均視聴率は34.3%、最高視聴率は36.8%を記録する大ヒット作となりました。大好評を受け、2014年には第2期が放映されました。

（第2期のプロローグ）

型破りな捜査方法で難事件を解決してきた検事・久利生公平（木村拓哉）が、古巣の東京地検城西支部に再び着任した。支部内で人気ナンバーワンの麻木千佳（北川景子）が彼の担当事務官に命じられる・・・

■当センター自主制作番組 『鳥羽水族館 もっと！水の惑星（ほし）紀行』

『もっと！水の惑星（ほし）紀行』は、鳥羽水族館と（株）ZTV伊勢放送局が共同制作した、ラッコやアザラシ等、豊富な生きものの映像を使い、野生生物の暮らしを紹介しながら、生命と地球環境について一緒に考えていく、毎月放映されているシリーズ番組です。

その人気番組に、当センターが字幕付与を行いました。お子さんはもちろん、大人の方でも思わぬ発見や驚きがあり、見ていて楽しめる内容です。

さて、今回紹介するのは・・・

『鳥羽水族館 60年の歴史と舞台裏』

〈番組の内容〉

全国にある水族館の中でも古いとされる鳥羽水族館の前身は、ナント！魚の卸問屋！

1955年に開館した当初は、海岸をしきった「天然プール」でアシカなどを飼育していました。その後、さまざまな設備がととのい、生きものたちが増えていきます。

1984年に日本初のラッコの赤ちゃん誕生と、ますます、水族館はにぎやかに。当時の写真や映像を交えて紹介します。

鳥羽水族館・(株)ZTV伊勢放送局 制作番組



【2015年制作】

鳥羽水族館60年の歴史と舞台裏



三重県聴覚障害者支援センター